



平成29年10月30日

各 位

会社名 株式会社ぐるなび
 代表者名 代表取締役社長 久保 征一郎
 (コード番号：2440 東証第一部)
 問合せ先 取締役 常務執行役員 山田 晃久
 総合政策室長
 (TEL：03-3500-9700)

平成30年3月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成29年5月10日に公表した平成30年3月期通期（平成29年4月1日～平成30年3月31日）の連結業績予想を下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成30年3月期 通期連結業績予想数値の修正（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	38,200	6,900	6,900	4,700	100.53
今回修正予想（B）	35,800	4,500	4,500	3,000	64.15
増減額（B－A）	△2,400	△2,400	△2,400	△1,700	
増減率（％）	△6.3	△34.8	△34.8	△36.2	
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期)	36,979	6,740	6,813	4,799	102.25

2. 修正の理由

売上については、

飲食店業界の人手不足の深刻化等を背景に、当社販促支援サービスの減額が想定以上に高水準だったことに加え受注が低調であったことから、売上の積み上がりに遅れが生じていること、

人手不足を始めとする飲食店業界の成長阻害要因の早期解消に向けた店舗運営のICT化等の業務支援サービスの強化により飲食店経営の効率化を図ること、およびICTの進化等に伴う飲食店の販促手段の多様化への対応に向けた新たな販促支援サービスの確立を加速することが、中長期的な飲食店業界の発展に資すると判断し、当社の資源配分を変更することで、短期的には売上への影響が見込まれること、により計画を下回る見込みです。

また費用については、店舗運営のICT化等の業務支援サービスおよび新たな販促支援サービスの確立に資する「ぐるなびPOS+」や「ぐるなび台帳」に関わる費用、飲食店の機会損失削減等につながるネット予約の利用促進等への費用を追加する一方、既存事業における効率化の効果により、通期では当初計画どおりの着地となる見込みです。

この結果、利益は計画を下回る見通しであります。

※ 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

以上